

平成30年度 分科会施策の管理シート

分科会名	熟年元気づくり分科会	会長	宮口 英昭
------	------------	----	-------

重点項目	『支えが必要な人』から『支える人』へ～高齢者が増えることが問題ではない～』及び『元気高齢者を増やす取り戻す挑戦～施設から地域へ～』	数値目標	【達成時期】 平成36年度末	分科会事務局	地域福祉課
			【目標値】 元気高齢者の割合を、平成32年度末には79.9%、平成36年度末には81.8%まで増加させる。		

	期 初(前年度末まで)			期 中(~9月)		期 末(~2月)…進捗・評価は見込で可		次年度へ 課題、 進捗管理継 続の要否 等
	【施策名・概要】 【実行する内容】 いつ、何を、どのように 等	選定した理由 どのような必要性に基づくのか 等	目指す成果 施策を実行した結果、どういった成果が現れる(水準、状態等を数値で)、その検証方法 等	分科会事務局 施策の進捗状況	分科会の意見 見直し、課題、助言等の内容	分科会事務局 実績及び成果に係る自己評価 評価	分科会の評価 達成度・成果について 評価	
1	育児・家事支援への高齢者派遣等事業 平成30年4月から、地域・団体を模索し、高齢者が地域の子どもの預かりを行う事業の開設等、高齢者が関わる家事・育児支援制度の事業化を働きかける。	社会的役割があることで、生きがいを持った元気な高齢者を増やしていく必要があるため。	地域の高齢者が子どもの預かりを行う事業が1以上開設される。					
2	コミュニティ・キッチンの開設支援 高齢者の居場所づくりや安否確認となるコミュニティ・キッチンを開設に向け、平成30年4月から地域・団体(社会福祉法人等)を模索し、事業化に向け働きかける。	高齢者世帯や単身高齢者が増えており、地域で支え、地域で元気で生活できる高齢者を増やしていく必要があるため。	コミュニティ・キッチンが1以上開設される。					
3								
4								
5								

- (注意事項)
- ① 重点項目ごとに、必ず管理シート1枚以内にまとめること(進捗管理する施策の選択等)。施策の選択の際は、重点項目の目標達成にどの程度貢献するのかも考慮すること。
 - ② 目指す成果の項目には、量的把握が可能なものは全て計量化・数値化することとし、不可能なものについても、望ましい状態や 結果、目標が達成された場合の状態等を具体的に明示すること。
 - ③ 達成度・成果の評価においては、施策の実行に当たってのプロセスも考慮し、総合的な視点から判断を行なうこと。評価の基準については、別紙の「施策の実績・盛夏に係る評価の基準」を参考にすること。
 - ④ 各施策の詳細(具体的な取組等)について、別に資料を添付しても良いこと。

特記事項	
------	--